

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	放置自転車対策事業	所管	市民経済部 交通安全課
			TEL 2998-9140

事業の目的 (何の為に 行うか)	放置自転車の撤去、立哨指導により、駅周辺の自転車放置禁止区域における歩行者等の通行の安全を確保する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	駅利用等を目的とする自転車利用者	対象とした数	30,000	人
		実際に 利用した数	30,000	人

活動の内容 (何を したか)	<p>○駅周辺に指導員を配置し、自転車利用者に対して放置しないよう指導するとともに、自転車駐車場への誘導を行う。 ○放置禁止区域に放置されている自転車の撤去を定期的実施する。 ○自転車保管場所に移動した放置自転車の所有者について警察に照会し、はがきを送付して自転車を返還する。 ○全国自転車問題自治体連絡協議会に入会し、会員相互の情報交換等を行うことにより、効果的な自転車対策の実施に努めている。</p>									
	活動実績	項目名	撤去台数	10238	項目名	撤去日数	104	項目名	指導員配置人数	17740
			単位 台			単位 日			単位 人	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	103,774	97,620	116,220	342.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	1日当り撤去台数	年間撤去台数/年間撤去日数	100 単位 台	98 単位 台	98.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他 [] 終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	031000	TEL	2998-9140
事業コード	031011	放置自転車対策事業	市民経済部 交通安全課			
開始年度	昭和 50 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	交通安全・自転車対策			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			所沢市自転車駐車場の整備及び自転車の放置の防止に関する条例				
	関連・類似事業	自転車駐車場整備事業							
	総合計画の体系	政 策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	4節 交通安全	中 柱	2 放置自転車対策の推進	小 柱	(2)自転車の放置防止に関する啓発指導
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 14 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	3111	市有財産の有効活用		コード	1111	市民の知りたい情報の提供		コード	
事業開始の背景	昭和50年以降、市内駅周辺に放置自転車が増加したことにより、車輪や歩行者の通行に支障が生じ、危険を伴う状態となった。また、緊急災害時の活動の妨げになることも考えられるため事業化した。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	放置自転車の撤去、立哨指導により、駅周辺の自転車放置禁止区域における歩行者等の通行の安全を確保する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	駅利用等を目的とする自転車利用者									
	対象数	単位	平成 18 年度	30,000	人	利用数	単位	平成 18 年度	30,000	人
		平成 19 年度	30,000	人			平成 19 年度	30,000	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
<p>○駅周辺に指導員を配置し、自転車利用者に対して放置しないよう指導するとともに、自転車駐車場への誘導を行う。</p> <p>○放置禁止区域に放置されている自転車の撤去を定期的実施する。</p> <p>○自転車保管場所に移動した放置自転車の所有者について警察に照会し、はがきを送付して自転車を返還する。</p> <p>○全国自転車問題自治体連絡協議会に入会し、会員相互の情報交換等を行うことにより、効果的な自転車対策の実施に努めている。</p>										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
下山口駅周辺については、平成20年4月からの自転車放置禁止区域の指定、自転車駐車場の有料化に向けた3箇所の再整備を実施した。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		98,582	103,774	99,079	
	決 算 (見込み含む)		94,501	97,620		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(0.80 人)	(人)	(0.80 人)	
	正規職員人件費	1.81 人	16,652	1.98 人	18,600	
	公債費					
	事業費合計		111,153	116,220		
	財源内訳	一般財源		105,094	109,891	92,809
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他		6,059	6,329	6,270		
市民一人当たり(単位:円)		329.0	342.8			
利用数一単位あたり(単位:円)		3,705.1	3,874.0			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	撤去台数	年間撤去台数	台	9953	10238	10000	
		撤去日数	年間撤去日数	日	88	104	110	
		指導員配置人数	年間指導員配置延べ人数	人	18804	17740	21432	
	成果分析	1日当り撤去台数	年間撤去台数/年間撤去日数	台	目標値	100	100	100
				実績	113	98	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	113.0	98.0		

⑦一	評価項目	現状評価	現状評価	
		事業の対象を見直す必要性	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市及び委託業者 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		
明らかとなった課題	限られた予算、人員の中で撤去業務を継続的に実施していくため、作業の合理化が必要である。			
⑧二	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	市職員と委託業者で行ってきた撤去作業の見直し	委託業者主体による作業の実施	
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
駅周辺の交通環境を確保するために必要な事業であり、撤去活動や指導員の配置について見直しを行いつつ、今後も継続していく。				
評価日		平成20年5月20日	記入者職氏名	交通安全課長 糟谷 守

⑧二	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優 先 度 評 価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	171
	施策の体系	1-7交通安全対策	施策の方向	1-7-1交通安全管理の推進		
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	3251
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります				
主要課題	2子育てに快適な環境づくり					
施策の方向	5子育てバリアフリーの推進					